

・「家庭」では、衣食住などの家庭生活に関する知識を深め、実践的・体験的な活動を展開する力を身に付けます。

・「体育」では、運動や健康安全に関する理解を深め、基本の運動、ゲーム、体づくり運動、器械運動、陸上運動、水泳、表現運動、ボール運動に関する知識・技能を身に付けます。

・「英語」では、中・高等学校の外国語科で養うコミュニケーション能力を支える素地づくりとしての小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の学習・指導・評価に関する基本的な知識・指導技術を身に付けます。

幼稚園の教育課程で取り扱われている領域について、それぞれの領域に関する専門的事項について理解を深めるとともに、領域の総合性を踏まえた指導ができる力を身に付けます。

・「こどもと健康」は幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの知識を身に付けます。

・「こどもと人間関係」は幼児の人と関わる力の育ちについて知識を身に付けます。

・「こどもと環境」は幼児を取り巻く環境や、幼児の環境との関わりについての知識及び技能を身に付けます。

・「こどもと言葉」は幼児の豊かな言葉や表現を身に付けるとともに、想像する楽しさを広げるための知識を身に付けます。

・「こどもと表現」は幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの知識・技能、表現力を身に付けます。

■保育の本質・目的について理解する
 社会福祉の基本的な考え方やその対象、援助の仕方などについて理解するとともに、保育の現状と課題を考察し、現代社会に求められる保育や養護の役割や責務などについて理解します。

・教育福祉学の基盤を構成する社会福祉学についての基礎的な知識を習得します。また、子どもや子育て家庭、障害者への支援のあり方、保育実践の基本的な考え方や社会的養護サービスの理念を学び、保育の本質や目的を理解します。

・保育や養護の現状と課題について考察するとともに、その意義並びに歴史、法体系、理念などについて理解し、保育実践や社会的養護サービスの基本的な考え方を身に付けます。

■保育の対象について理解する
 子どもの保健、食生活、家族援助等の分野で必要となる保育の基礎的な内容を学び、保育対象者に応じた保育や援助のあり方を身に付けます。

・保育の対象となる子どもの成長発達、健康の増進、疾病の予防について理解します。また、子どもの健康観察や事故予防、救急処置、基本的生活習慣獲得への援助などについて学び、小児保健の基本的な考え方やその活用、及び今日的課題について理解を深めます。

・小児期における適切な食生活と栄養に関する基本的知識を身に付けるとともに、保育の対象は子ども・保護者を含めた家族であることを理解し、家族の意義と子育て支援の重要性を認識します。

■保育の内容・方法について理解する
 乳幼児や障害児の成長と発達、保育問題の対処法や介助技術の基本ならびに、保育所等における保育内容の特性および基本的な保育方法のあり方について学び、乳幼児保育、障害児保育の基本と援助の仕方を身に付けます。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
		こどもと人間関係② こどもと環境②	こどもと言葉② こどもと表現(音楽)② こどもと表現(造形)②	こどもと健康②				
	社会福祉概論②		子ども家庭福祉②			子育て支援① 障害者福祉論②		
		保育原理②		社会的養護Ⅰ②			社会的養護Ⅱ①	
					こどもの保健②	子どもの健康と安全① 子どもの食と栄養②		
			子ども家庭支援論②					
					乳児保育Ⅰ②	乳児保育Ⅱ① 障害児保育②		
					保育内容の理解と方法Ⅰ②	保育内容の理解と方法Ⅱ②		

※表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□②は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年		
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
<p>■特別支援教育の基礎理論について理解する 特別支援教育の理念とは何か、また、特別支援教育の基本的な考え方がどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの特別支援教育及び特別支援学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解します。 現代の特別支援学校の教育に関する社会的、制度的又は経営的事項のいずれかについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解します。</p>			特別支援教育概論②						
<p>■知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱を含む）のある幼児、児童及び生徒の心理、生理及び病理について専門的に理解する 心身に障害のある幼児、児童及び生徒、特に、知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱を含む）のある子どもの心理、生理及び病理について、その特徴やそれらの相互作用、発達の特徴を理解するとともに、家庭と関係機関との連携について専門的に理解します。</p>			知的障害者の心理・生理・病理② 肢体不自由者の心理・生理・病理② 病弱者の心理・生理・病理②						
<p>■知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱を含む）に障害のある幼児、児童及び生徒の教育課程及び指導法について専門的に理解する 特別支援学校教育要領・学習指導要領を基準として特別支援学校（知的障害・肢体不自由・病弱）において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントについて専門的に理解します。 知的障害・肢体不自由・病弱（身体虚弱を含む）の幼児、児童又は生徒の病気や障害の状態、特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等（「自立活動」を除く。*）の指導における配慮事項について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を専門的に身に付けます。</p>					知的障害者教育論② 肢体不自由者教育論② 病弱者教育論②	知的障害者指導論② 肢体不自由者指導論② 病弱者指導論②			
<p>■視覚・聴覚障害、重複障害、発達障害のある幼児、児童及び生徒の心理・生理・病理、教育課程及び指導法について包括的に理解する 特別支援学校教育要領・学習指導要領を基準として特別支援学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントについて理解します。 視覚・聴覚障害、重複障害、発達障害のある幼児、児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等（「自立活動」を除く。*）の指導における配慮事項について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けます。</p>					視覚・聴覚障害者教育総論② 重複障害者教育総論②		発達障害者教育総論②		
<p>■健康運動の理論と方法について理解する 健康運動の理念に基づく実践と指導について、生涯スポーツに関わっていくための基礎的な知識の理解を深めるとともに、各年齢層に応じた健康運動実践指導をするための能力を身に付けます。 ・スポーツがもたらす人間への影響力を理解し、各運動種目の基本的な技術、ルール、指導法及び様々なスポーツ場面においても活躍できるリーダーとしての資質を身に付けます。 ・スポーツの特性・特徴について考察するとともに、スポーツの現状を心理学、経営管理、社会学、医学などの様々な面から考え理解する能力を身につけます。 ・自ら見本を示せる技術を身に付け、集団への運動指導力やそれぞれの運動の理論を習得し、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導できる能力を身に付けます。</p>			スポーツ実技Ⅰ② 運動学② 体力測定法②	スポーツ実技Ⅱ② トレーニング論② コーチング理論②			スポーツ実技Ⅲ②		
		スポーツ原理②	スポーツ心理学②	スポーツ経営管理②			スポーツ医学② 健康運動実践指導Ⅰ②	リハビリテーション論② 健康運動実践指導Ⅱ②	スポーツ社会学②

※表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□②は選択科目です。

■健康管理の理論と方法について理解する
 学校運営上求められる学校保健推進のための基本的な知識の理解を深めるとともに、子どもの成長・発達に応じた健康管理を行う能力を身に付けます。
 ・子どもの成長・発達の特性や健康の保持・増進に関連する基本的な知識を習得し、子どもの健康問題について理解するとともに、児童・生徒の健康管理や安全に常に配慮する姿勢を身に付けます。
 ・養護教諭の果たすべき職務や役割についての基本的な知識を習得し、保健室の在り方や児童・生徒の健全な成長・発達を促進するための具体的な方法を理解するとともに、学校救急処置に必要な知識・技術・態度を身に付けます。

■心理と相談援助の理論と方法について理解する
 教育現場での相談や援助のあり方について理解し、具体的な問題に対してそれぞれに適した対応をすることができる知識と、カウンセリング・マインドで対応できる能力を身に付けます。
 ・心理学において必要な様々な研究方法について学び、基礎的な統計法や実証的研究方法の知識を身に付けます。
 ・心理学の実験・実習を通して、データ解析や心理検査等の基礎的な手法を実践的に身に付けます。
 ・知覚、記憶、言語、思考、認知、学習など、人間が生活を営む上で基礎となる心理学に関する知識を身に付けます。
 ・人が集団の中でどのように振舞うかというような、行動理解の基礎となる社会心理の知識を身に付けます。
 ・性格や人格特性などの個性や個人差の問題を学び、人格心理学の知識を身に付けます。
 ・心の問題を抱えた人を理解するための理論とその援助方法について、事例研究を通じて、心理臨床の実践的課題への基本姿勢を身に付けます。
 ・カウンセリング・マインドについての理解を深めるとともに、自己を振り返り、洞察を深め、他者理解へと関心を広げる姿勢を身に付けます。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
				生活習慣病論②	健康管理論②			
	生理学②		解剖生理学②					
	免疫学②							
			衛生学②	公衆衛生学②				
				栄養学②				
				養護概論②			健康相談活動②	
			学校保健②	★精神保健学④	小児保健②			
				救急処置法②				
			看護学概論②	看護技術論②	看護学実習Ⅰ②	看護学実習Ⅱ②	看護学実習Ⅲ(救急処置)②	
					心理学統計法②		心理学研究法②	心理学調査実習②
	★心理学概論②	★教育心理学②				知覚・認知心理学②		
		発達心理学②				社会心理学②	社会・集団・家族心理学②	
		学習・言語心理学②				発達臨床心理学②		
						福祉心理学②	障害者・障害児心理学②	
		臨床心理学概論②		心理学的支援法②	心理的アセスメント②	心理アセスメント実習②		
					心理学基礎実験②			

※表中の数字は単位数を表し、□②は必修科目、□②は選択科目です。